

一般質問通告書

【第71回定例会】

多可町議会議長 河崎 一 様
 多可町議会議員 藤本 英三



受 領 日	番号
平成 28 年 9 月 5 日 午前・ 午後 4 時 12 分	4

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 町道の改良工事を県教委に負担を	町長
<p>町道岸上特別支援学校線の道路改良工事（拡幅）が、いよいよ工事着工の運びとなりました。確かにあの道路は農林道と上水道の配水池の管理道路でもあります。普段は県立北はりま特別支援学校の関係車両が多く利用されています。町単独事業で改良工事ですが、兵庫県教育委員会にも工事費の負担をしてもらうべきである。</p>	
2. 町税の使い道を決められる1%支援制度を導入	町長
<p>1%支援制度とは、町税のうち1%を納税者が町内で活動する町民のためのボランティア団体やNPOの活動資金として振り向け、それらの活動を支援する仕組みである。この制度をすでに取り組んで導入している自治体は、千葉県市川市・八千代市や愛知県一宮市などがあります。本町でも導入してはどうか。</p>	
3.	
<p> </p>	

質 問 の 内 容

① 県教委に負担

町道岸上特別支援学校線の道路改良事業（拡幅）が、平成26年度から事業が計画され、測量・文化財調査・設計も終了して、いよいよ今年度から町単独事業として工事着工の運びとなりました。

あの道路は約30年前に圃場整備によって出来た農道で道幅が4mです。今になっては車両・農機の大型化によって、道路の拡幅が必要となってきました。思い出川の東にある県立北はりま特別支援学校の開校と同時に道路改良をすべきだったと思います。

あの道路は農林道と上水道の配水池の管理道路でありながら、県立北はりま特別支援学校の関係車両が多く利用されております。地元の方の話によると、「あの道はよく脱輪をして困っておられる方をよく見かけますし、畔の草刈りをしている人が、学校の関係車両に気づかず、車に傷をやってしまった」と耳にしたことがあります。

我々議会も平成26・27年度で1,000万円、今年度で4,300万円の工事事業費の予算を認めてきました。

道路改良によって、農作業の方や山に入られる方が安全で安心して通行できますのは勿論のことですが、一番喜ばれるのが支援学校の関係者ではないかと思います。特に農繁期の時期は送迎バスが4・5台あるドライバーさんが一番助かるのではないのでしょうか。確かに町単独事業とは言え県立の学校があるのだから、兵庫県教育委員会に負担をお願いしてもいいのではないのでしょうか。

この事を今年の2月の生活環境常任委員会の所管事務調査時に、町長に申し上げますと、「正式に要望書を作成して県教育委員会にお願いをする」とおっしゃいましたが、その後どうなったのでしょうか。早期工事の着工と完成を地元の方や学校関係者は待ち望んでおりますと、共に県教育委員会に強く要望すべきと思います。

② 1%支援制度

1%支援制度とは自分が収めた町民税の一部（1%）を町内で活動されているボランティアや団体やまちづくり団体等に資金面で支援できる制度で、自分の税金の使い道を一部ではありますが、指定できる制度で注目を浴びております。すでに千葉県市川市・同じく八千代市や愛知県一宮市等のいくつかの自治体で取り入れられています。

税金と聞いていいイメージを持つ人はあまり多くないと思います。取られっ

ばなしとしか思われたいでしょう。またその税金が国にしろ自治体にしろ具体的にどのように使われているか関心も薄い方が多いです。納税者が税金の用途を一部ではありますが、自分で決めることができ、納税意識の高揚にもつながります。そしてボランティア団体の活動に関心が高まりその団体にも参加しようという意識にもつながります。その反面ボランティア団体によって支援額に隔たり出てくる可能性があります。たとえ少しでも町税の収納率が上がるのなら、研究して見る価値があるのではないのでしょうか。町長にお伺いいたします。